

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		10-	2
事業名	敬老経費	会計	款	項	目
		一般	3	1	2
施策	2	人にやさしいまち		課名	健康長寿課
	2-2	支えあいを実感できるまちをつくる		係名	高齢福祉係
	2-2-3	高齢者福祉の推進			
主要施策	⑤生きがいづくりと社会参加の促進				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	75歳以上の高齢者	目的 (対象がどのような状態になっているか)	地域で長寿を祝うとともに地域コミュニティーを推進することにより、高齢者の福祉の増進が図られ、高齢者が住み慣れた地域で、いつまでも健康で生きがいにあふれた生活を送ることができる。
事業内容	敬老事業・・・敬老行事を自治会で開催した際の経費及び地域見守りのための状況把握を行う経費に対し、補助金を交付する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度 (目標)	
	1	敬老行事出席者及び地域見守り状況把握数	3,139	3,266	3,219	人	→	3,500	
2									
3									
4									
5									
			平成30年度 (決算)		令和元年度 (決算)	令和2年度 (予算)			
全体事業費 (千円) A+B					4,835	5,455	7,111		
財源内訳	直接事業費 A				4,835	4,795	5,527		
	うち一般財源				4,835	4,795	5,527		
人件費 (千円) B					0	660	1,584		
内訳	一般職員 (人・千円)				0	0.1	660	0.24	1584
	臨時職員 (人・千円)				0	0	0	0	0

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	B達成できなかった
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適切である
					コストの削減	C削減の余地が大きい
総合評価	VI 縮小 (改善ではなく、他の事業との統合又は縮小すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	敬老事業補助金について、今後の見直しに向けた検討を行う。	③取組の課題	敬老事業補助金について廃止の方向で検討する必要があるが、自治会等の理解を得ることが課題となる。また、老人福祉法の位置づけ、近隣市町の状況を勘案すると廃止は困難である。
②R1年度に実施した取り組み	敬老事業補助金の見直しに向けて同様に自治会関係補助金を所管する各課と見直し案についての検討を行った。	④今後の改善計画	町の厳しい財政状況から、敬老事業補助金について廃止も必要と考えるが現時点での廃止は厳しく、近隣市町の状況も把握し、廃止他、変更方法、時期を見極める必要がある。